

ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー

日本円・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／
 ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)／米ドル・コース(毎月分配型)／
 通貨セレクト・コース(毎月分配型)

追加型投信／海外／株式

基準日：2024年9月30日

「日本円・コース(毎月分配型)」の運用状況

信託期間：2011年9月22日 から 2026年9月7日 まで
 決算日：毎月7日(休業日の場合翌営業日)

回次コード：3834

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

《基準価額・純資産の推移》

2024年9月30日現在

基準価額	6,166 円
純資産総額	253百万円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+0.6 %
3カ月間	+5.2 %
6カ月間	-0.7 %
1年間	+7.2 %
3年間	+17.7 %
5年間	+42.7 %
年初来	+4.4 %
設定来	+107.5 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《分配の推移》

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1～143期 合計:	9,345円
第144期 (23/10)	35円
第145期 (23/11)	35円
第146期 (23/12)	35円
第147期 (24/01)	35円
第148期 (24/02)	35円
第149期 (24/03)	35円
第150期 (24/04)	35円
第151期 (24/05)	35円
第152期 (24/06)	35円
第153期 (24/07)	35円
第154期 (24/08)	35円
第155期 (24/09)	25円
分配金合計額	設定来：9,755円 直近12期：410円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

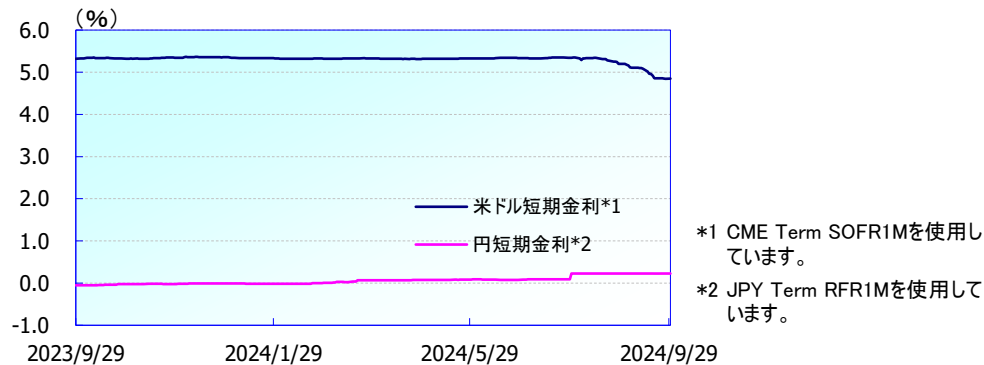
《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入ファンド	運用会社名	ファンド名	合計98.9%	比率
IQ EQマネジメント・パミュダ・リミテッド		オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド(日本円・クラス)		98.9%
大和アセットマネジメント		ダイワ・マネー・マザーファンド		0.0%

《参考》短期金利の推移

(2023年9月29日～2024年9月30日)



*1 CME Term SOFR1Mを使用しています。
 *2 JPY Term RFR1Mを使用しています。

(出所)ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

「豪ドル・コース(毎月分配型)」の運用状況

信託期間 : 2011年9月22日 から 2026年9月7日 まで
 決算日 : 毎月7日 (休業日の場合翌営業日)

回次コード : 3835

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

「基準価額・純資産の推移」

2024年9月30日現在

基準価額	5,105 円
純資産総額	750百万円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+1.4 %
3カ月間	-1.2 %
6カ月間	+2.2 %
1年間	+16.2 %
3年間	+52.8 %
5年間	+91.2 %
年初来	+10.8 %
設定来	+213.4 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

「分配の推移」

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1~143期 合計:	13,800円
第144期 (23/10)	20円
第145期 (23/11)	20円
第146期 (23/12)	20円
第147期 (24/01)	20円
第148期 (24/02)	20円
第149期 (24/03)	20円
第150期 (24/04)	20円
第151期 (24/05)	20円
第152期 (24/06)	20円
第153期 (24/07)	20円
第154期 (24/08)	20円
第155期 (24/09)	20円
分配金合計額	設定来: 14,040円 直近12期: 240円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

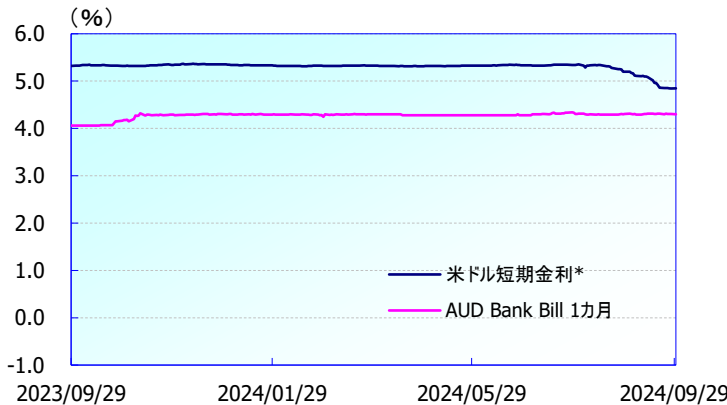
「主要な資産の状況」

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入ファンド	運用会社名	ファンド名	比率
IQ EQマネジメント・バミューダ・リミテッド	オージェンタム・トラスト・クロッキー・USストラテジー・ファンド(豪ドル・クラス)	99.5%	
大和アセットマネジメント	ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0%	
合計			99.5%

「参考」短期金利の推移

(2023年9月29日~2024年9月30日)



* CME Term SOFR1Mを使用しています。

(出所)ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

「ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)」の運用状況

信託期間 : 2011年9月22日 から 2026年9月7日 まで
 決算日 : 毎月7日 (休業日の場合翌営業日)

回次コード : 3836

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

「基準価額・純資産の推移」

2024年9月30日現在

基準価額	2,245 円
純資産総額	117億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+3.2 %
3カ月間	-2.6 %
6カ月間	-9.9 %
1年間	+4.0 %
3年間	+88.1 %
5年間	+78.6 %
年初来	+0.5 %
設定来	+171.3 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

「分配の推移」

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1~143期 合計:	13,240円
第144期 (23/10)	20円
第145期 (23/11)	20円
第146期 (23/12)	20円
第147期 (24/01)	20円
第148期 (24/02)	20円
第149期 (24/03)	20円
第150期 (24/04)	20円
第151期 (24/05)	20円
第152期 (24/06)	20円
第153期 (24/07)	20円
第154期 (24/08)	20円
第155期 (24/09)	20円
分配金合計額	設定来: 13,480円 直近12期: 240円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

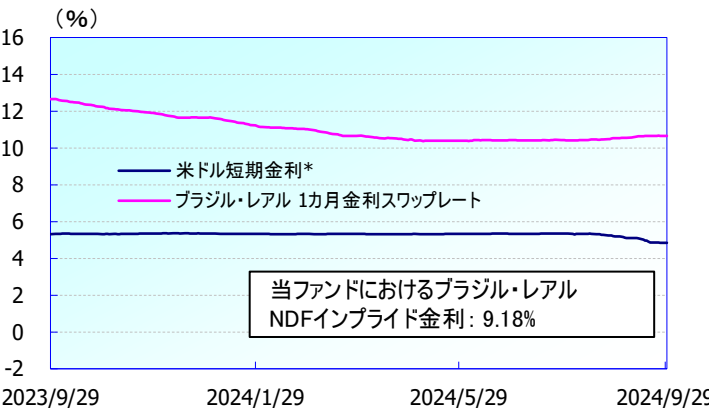
「主要な資産の状況」

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入ファンド	運用会社名	ファンド名	比率
IQ EQマネジメント・バミューダ・リミテッド	オージェンタム・トラスト・クロッキー・USストラテジー・ファンド(ブラジル・リアル・クラス)	99.7%	
大和アセットマネジメント	ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0%	
合計			99.7%

「参考」短期金利の推移

(2023年9月29日~2024年9月30日)



* CME Term SOFR1Mを使用しています。
 ※上図のNDFインプライド金利は、当ファンドにおける当月中の主なNDF取引について、それぞれの残存期間とその時点の市場データをもとに算出した概算値です。

(出所)ブルームバーグおよびJPモルガン証券の提供するデータより大和アセットマネジメント作成

「米ドル・コース(毎月分配型)」の運用状況

信託期間 : 2011年9月22日 から 2026年9月7日 まで
 決算日 : 毎月7日 (休業日の場合翌営業日)

回次コード : 3837

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

≪基準価額・純資産の推移≫

2024年9月30日現在

基準価額	7,397 円
純資産総額	24億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-0.6 %
3カ月間	-4.6 %
6カ月間	-2.9 %
1年間	+9.5 %
3年間	+68.7 %
5年間	+116.2 %
年初来	+11.0 %
設定来	+382.9 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

≪分配の推移≫

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1~143期 合計:	16,530円
第144期 (23/10)	40円
第145期 (23/11)	40円
第146期 (23/12)	40円
第147期 (24/01)	40円
第148期 (24/02)	40円
第149期 (24/03)	40円
第150期 (24/04)	40円
第151期 (24/05)	40円
第152期 (24/06)	40円
第153期 (24/07)	40円
第154期 (24/08)	40円
第155期 (24/09)	40円
分配金合計額	設定来: 17,010円 直近12期: 480円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

≪主要な資産の状況≫

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入ファンド		合計97.9%
運用会社名	ファンド名	比率
IQ EQマネジメント・バミューダ・リミテッド	オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド(米ドル・クラス)	97.9%
大和アセットマネジメント	ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0%

「通貨セレクト・コース(毎月分配型)」の運用状況

信託期間 : 2013年5月31日 から 2026年9月7日 まで
 決算日 : 毎月7日 (休業日の場合翌営業日)

回次コード : 5763

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

≪基準価額・純資産の推移≫

2024年9月30日現在

基準価額	3,354 円
純資産総額	144百万円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+0.8 %
3カ月間	-2.0 %
6カ月間	-1.4 %
1年間	+15.4 %
3年間	+73.0 %
5年間	+107.6 %
年初来	+11.7 %
設定来	+103.6 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

≪分配の推移≫

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1~123期 合計:	8,060円
第124期 (23/10)	30円
第125期 (23/11)	30円
第126期 (23/12)	30円
第127期 (24/01)	30円
第128期 (24/02)	30円
第129期 (24/03)	30円
第130期 (24/04)	30円
第131期 (24/05)	30円
第132期 (24/06)	30円
第133期 (24/07)	30円
第134期 (24/08)	30円
第135期 (24/09)	30円
分配金合計額	設定来: 8,420円 直近12期: 360円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

≪主要な資産の状況≫

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入ファンド	運用会社名	ファンド名	比率
IQ EQマネジメント・バミューダ・リミテッド		オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド(通貨セレクト・クラス)	99.2%
大和アセットマネジメント		ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0%

(通貨セレクト・クラス)取引対象通貨 合計100.0%

通貨	比率
トルコ・リラ	30.0%
ブラジル・リアル	14.4%
コロンビア・ペソ	14.2%
ハンガリー・フォリント	13.9%
インド・ルピー	13.8%
ルーマニア・レイ	13.7%

※「取引対象通貨」は、取引対象通貨のポジションに対するもので、株式ポートフォリオに対するものではありません。

≪参考≫市況データ

(2024年9月)

通貨	短期金利	当ファンドにおけるNDFインプライド金利	通貨	短期金利	当ファンドにおけるNDFインプライド金利
トルコ・リラ	51.6%	/	ハンガリー・フォリント	6.5%	/
ブラジル・リアル	10.7%	9.18%	インド・ルピー	7.1%	6.56%
コロンビア・ペソ	9.6%	9.67%	ルーマニア・レイ	5.4%	/

(出所)ブルームバーグおよびJPモルガン証券の提供するデータより大和アセットマネジメント作成

※上記は基準日時点での選定通貨における市況データです。
 ※取引対象通貨が新興国通貨の場合、為替取引を行う際にNDF取引を利用することがあります。NDF取引を利用した通貨については、NDFインプライド金利を表示しています。
 ※NDFインプライド金利は、当ファンドにおける当月中の主なNDF取引について、それぞれの残存期間とその時点の市場データをもとに算出した概算値です。
 ※短期金利は、月末の値を表示しています。トルコ・リラ: 翌日物金利スワップ1か月、ブラジル・リアル: 1か月金利スワップレート、コロンビア・ペソ: コロンビア銀行間取引金利1か月、ハンガリー・フォリント: ブダペスト銀行間取引金利1か月、インド・ルピー: FBIL銀行間取引金利1か月、ルーマニア・レイ: ブカレスト銀行間取引金利1か月のデータです。

※JPモルガン証券の提供するデータ等を基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

株式ポートフォリオ特性値

銘柄数	40
配当利回り(課税前)	2.5%

※配当利回りは、課税前の数値を年率換算し算出しています。
 ※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄と異なる場合があります。

カバードコール戦略

カバー率	100.0%
------	--------

※カバー率は、株式ポートフォリオに対するオプションのポジションです。

配当、オプションプレミアム(実績値)

配当	0.19%
オプションプレミアム	0.69%
合計	0.88%
(年率換算)	10.57%

※株式の配当落ちの多寡などにより、上記数値の水準が大きく変動することがあります。

※配当、オプションプレミアム(実績値)は、直近1カ月の間に終了したカバードコール戦略によって得られた収益を表示しています。

株式 業種別構成 合計100.0%

業種名	比率
ヘルスケア	24.6%
エネルギー	19.7%
生活必需品	15.2%
資本財・サービス	12.9%
情報技術	10.1%
コミュニケーション・サービス	7.5%
一般消費財・サービス	7.4%
素材	2.6%
金融	---
公益事業	---

組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	業種名	比率
CATERPILLAR INC	米ドル	資本財・サービス	2.6%
CUMMINS INC	米ドル	資本財・サービス	2.6%
JOHNSON CONTROLS INTERNATION	米ドル	資本財・サービス	2.6%
CONSTELLATION BRANDS INC-A	米ドル	生活必需品	2.6%
COMCAST CORP-CLASS A	米ドル	コミュニケーション・サービス	2.6%
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	米ドル	ヘルスケア	2.6%
DEERE & CO	米ドル	資本財・サービス	2.6%
NUCOR CORP	米ドル	素材	2.6%
KROGER CO	米ドル	生活必需品	2.5%
CISCO SYSTEMS INC	米ドル	情報技術	2.5%

※上記データは、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日のデータに基づきます。

※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。

CME Term SOFR1Mは、CME GROUPによりライセンス供与されている金利指標であり、著作権等の知的財産権、その他一切の権利はCME GROUPに帰属します。CME GROUPは、大和アセットマネジメントが提供する商品やサービスとは関係がなく、それを推奨、宣伝をするものではありません。また、大和アセットマネジメントが提供する商品やサービスに関わるデータの正確性・完全性等に関して一切の責任を負いません。

※JPモルガン証券のコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

【投資環境】

株式市況

米国株式市場は上昇しました。上旬は、ISM製造業景況感指数などの下振れを受けた景気後退懸念の再燃により下落しましたが、米半導体大手エヌビディアのCEO（最高経営責任者）が次世代AI（人工知能）半導体需要に対して強気な見通しを示すと、月半ばにかけて反発しました。月後半は、経済指標は強弱まちまちの結果でしたが、FRB（米国連邦準備制度理事会）による利下げ期待に加え、中国が包括的な景気・株価対策を発表したことを好感し堅調に推移しました。

ボラティリティの状況

インプライド・ボラティリティは月中に上昇する場面もありましたが、ほぼ横ばいで終わりました。なお、クロッキー戦略を構成する銘柄の平均インプライド・ボラティリティは、上昇して終わっています。

為替市況

（豪ドル・コース）

豪ドル円は上昇しました。月前半には、米国の雇用者数が市場予想を下回り、リスク回避が強まったことなどから、豪ドルは対円で下落しました。しかし、月後半には、米国の景気後退懸念が和らいだことに加え、日銀の総裁会見などを受けて追加利上げ期待が後退したことなどから、円安豪ドル高となりました。

（ブラジル・リアル・コース）

ブラジル・リアルは対円、対米ドルで上昇しました。米国など多くの国で利下げが実施される中、ブラジル中銀が利上げに転じたことで、ブラジル・リアルは金利面での相対的な投資妙味が高まりました。

（米ドル・コース）

為替市場では、円高米ドル安となりました。米国金利の大幅な低下により、日米金利差の縮小が意識されたことなどから円高米ドル安基調となりました。また、自民党総裁選の結果を受けて、日銀の引き締めへの思惑が強まったことも円高要因となりました。

（通貨セレクト・コース）

選定通貨は対円でおおむね下落しました。

自民党総裁選の結果を受けて、日銀の引き締めへの思惑が強まったことが円高要因となり、トルコ・リラ、インド・ルピー、コロンビア・ペソ、ルーマニア・レイ、ハンガリー・フォリントは対円で下落しました。一方で、ブラジル・リアル、英ポンドは対円で上昇しました。

※JPモルガン証券のコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

【ファンドの運用状況】

月間の動き

S&P500種株価指数は上昇しました。当ファンドの現物株式ポートフォリオのパフォーマンスは同指数を下回るパフォーマンスとなりました。オプション取引戦略は軽微な影響にとどまりました。今後も米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長を目指します。

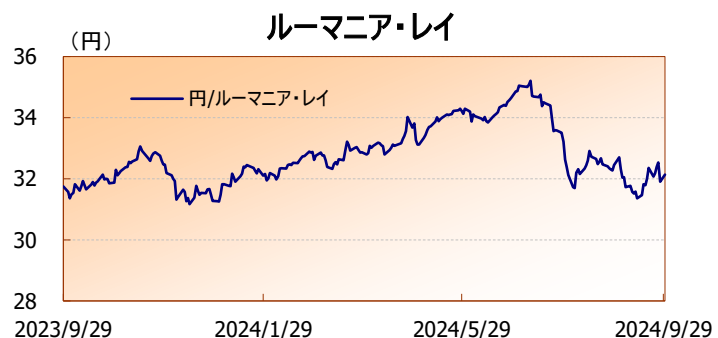
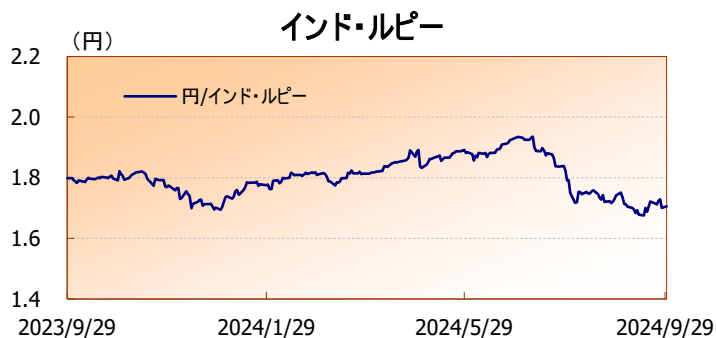
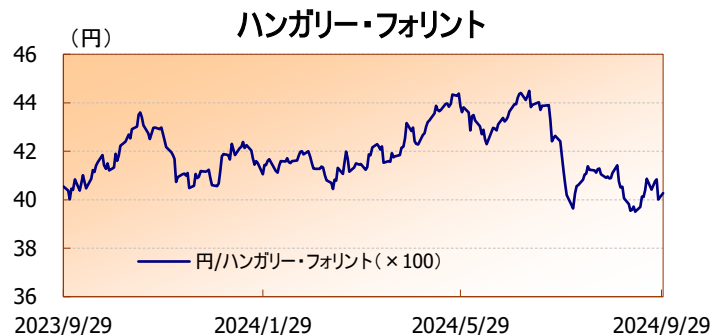
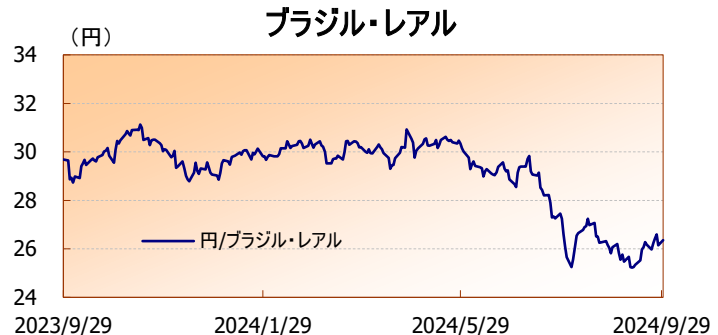
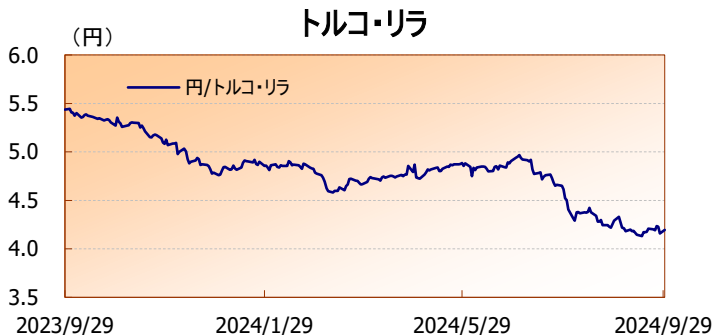
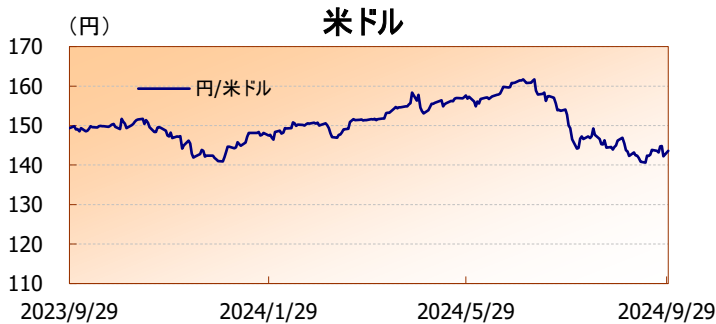
(通貨セレクト・コース)

選定通貨については、トルコ・リラ、ブラジル・レアル、インド・ルピー、コロンビア・ペソ、ルーマニア・レイ、英ポンドの6通貨で運用を開始しました。月中には選定通貨の見直しを行い、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案した結果、英ポンドからハンガリー・フォリントへ通貨の入れ替えを行いました。また、取引対象通貨合計の比率はおおむね100%としました。

取引対象通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリア（利息収入）収益が享受できる通貨で運用を行う方針です。

※カバードコール戦略とは、株式を保有しつつ、個別株のオプション取引を活用してオプションプレミアムと株式の値上がり益の獲得を目指す戦略です。オプションプレミアムを獲得する代わりに、株式の値上がり益は一定の水準で限定されますが、値下がり損はオプションプレミアム分だけカバーされます。

- ◆ 各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
 ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズー 日本円・コース（毎月分配型）
 : 日本円・コース
 ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズー 豪ドル・コース（毎月分配型）
 : 豪ドル・コース
 ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズー ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）
 : ブラジル・レアル・コース
 ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズー 米ドル・コース（毎月分配型）
 : 米ドル・コース
 ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズー 通貨セレクト・コース（毎月分配型）
 : 通貨セレクト・コース
- ◆ 上記の総称を「ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズー」とします。



(出所)ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

《ファンドの目的・特色》

ファンドの目的

- ・割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- ・割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
- ・為替取引を活用します。
- ・毎月7日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

《投資リスク》

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

株価の変動 (価格変動リスク・信用リスク)	<ul style="list-style-type: none">・株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。・選定銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。・当ファンドは、銘柄数を絞り込んだ運用を行なうため、市場動向にかかわらず基準価額の変動が大きくなる可能性があります。
カバードコール戦略の利用に伴うリスク	<ul style="list-style-type: none">・オプションプレミアムの水準は、オプション売却時の株価水準、権利行使価格、株価変動率（ボラティリティ）、満期日までの期間、金利水準、配当金額、需給等により決定されます。・想定したオプションプレミアムが確保できない場合もあります。・株価水準や株価変動率の変動等によりコール・オプションの評価値が変動し、損失を被る場合があります。・カバードコール戦略では、株価が上昇した場合の値上がり益が限定されるため、株式のみに投資した場合に対して投資成果が劣化する可能性があります。戦略再構築を重ねた場合、株価が下落しその後当初の水準程度まで回復しても、基準価額の回復は株価に比べて緩やかになる可能性があります。・当ファンドでは個別銘柄ごとにカバードコール戦略を構築するため、株価上昇時の値上がり益が個別銘柄ごとに限定される結果、投資成果が株式市場全体の動きに対して劣化する可能性があります。
為替変動リスク	<ul style="list-style-type: none">・ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－日本円・コース（毎月分配型）<ul style="list-style-type: none">・為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。・為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。※各ファンドの投資対象である外国投資信託において、NDF取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。・ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－豪ドル・コース（毎月分配型）<ul style="list-style-type: none">・取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。・投資対象資産の通貨である米ドルの為替変動リスクを完全に排除することはできませんので、基準価額は円に対する米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。また、取引対象通貨の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。※各ファンドの投資対象である外国投資信託において、NDF取引を用いて為替取引

を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

・ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）

・取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

・投資対象資産の通貨である米ドルの為替変動リスクを完全に排除することはできませんので、基準価額は円に対する米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。また、取引対象通貨の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※各ファンドの投資対象である外国投資信託において、NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

・ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 米ドル・コース（毎月分配型）

・組入外貨建資産について、米ドルが円に対して米ドル安の方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

※各ファンドの投資対象である外国投資信託において、NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

・ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 通貨セレクト・コース（毎月分配型）

・取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

・投資対象資産の通貨である米ドルの為替変動リスクを完全に排除することはできませんので、基準価額は円に対する米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。また、取引対象通貨の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※各ファンドの投資対象である外国投資信託において、NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

カントリー・リスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。

スワップ取引の利用に伴うリスク

・スワップ取引の相手方に債務不履行や倒産その他の事態が生じた場合、カバードコール戦略の投資成果を享受することができず、ファンドの運用の継続が困難となり、予想外の損失を被る可能性があります。また、スワップ取引の相手方から受入れた担保を想定した価格で処分できない場合があることから損失を被る可能性があります。

・当ファンドが投資対象とする外国投資信託は、スワップ取引の相手方が取引する株式やオプションについて何ら権利を有しません。

その他

解約資金を手当てするためカバードコール戦略を解消（株式の売却およびオプションの買戻し）する際、市場規模や市場動向によっては当初期待される価格で解消できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 当ファンドは、忠実義務に基づき、投資する投資信託証券について、その価格が入手できない、または入手した価格で評価すべきでないと考えられる場合には、適正と判断する直近の日の価格など当社が時価と認める価格で評価することがあります。

《ファンドの費用》

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) 3.3%(税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	0.5%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられる額。換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.3475% (税抜 1.225%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜 (注1))	委託会社	年率0.40%
	販売会社	年率0.80%
	受託会社	年率0.025%
投資対象とする 投資信託証券		投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。 「日本円・コース」、「豪ドル・コース」、「ブラジル・リアル・コース」、「米ドル・コース」 年率0.68%程度 「通貨セレクト・コース」 年率0.83%程度
実質的に負担する 運用管理費用		「日本円・コース」、「豪ドル・コース」、「ブラジル・リアル・コース」、「米ドル・コース」 年率2.0275%(税込)程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) 「通貨セレクト・コース」 年率2.1775%(税込)程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。)
その他の費用・ 手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

購入単位	最低単位を 1 円単位または 1 口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万口当たり）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を 1 口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を控除した価額（1 万口当たり）
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して 6 営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	① ニューヨーク証券取引所、ロンドンの銀行またはニューヨークの銀行のいずれかの休業日 ② ①のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 ※ただし、購入申込については、当ファンドの運営および受益者に与える影響を考慮して受けを行なうことがあります。 (注) 申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	(2024 年 11 月 4 日まで) 午後 3 時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） (2024 年 11 月 5 日以降) 原則として、午後 3 時 30 分まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入、換金の申込みの受け付けを中止することがあります。
スイッチング（乗換え）	「日本円・コース」、「豪ドル・コース」、「ブラジル・リアル・コース」、「米ドル・コース」、「通貨セレクト・コース」の間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。
繰上償還	●主要投資対象とする組入外国投資信託が存続しないこととなる場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）させます。 ●次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。 ・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
収益分配	年 12 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 (注) 当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。 なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に NISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISA の対象ではありません。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

《収益分配金に関する留意事項》

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

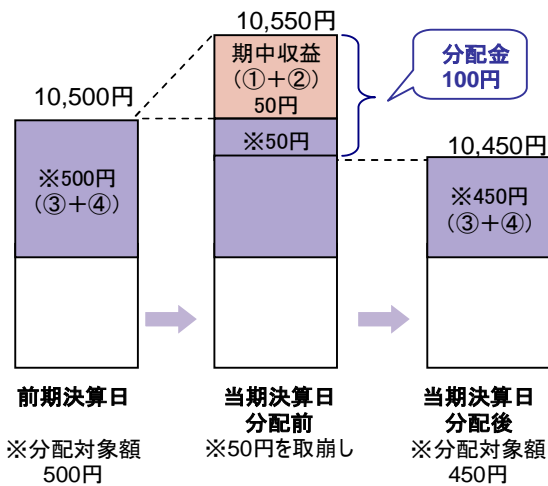
投資信託の純資産

分配金

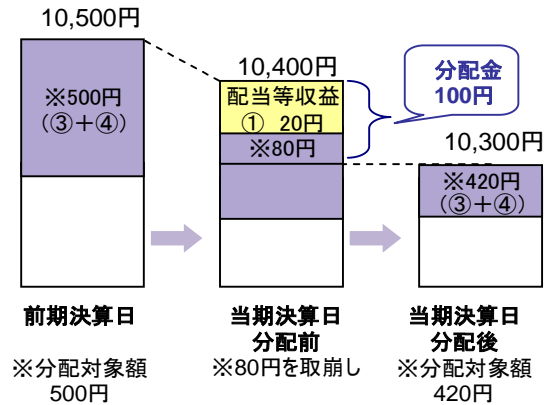
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



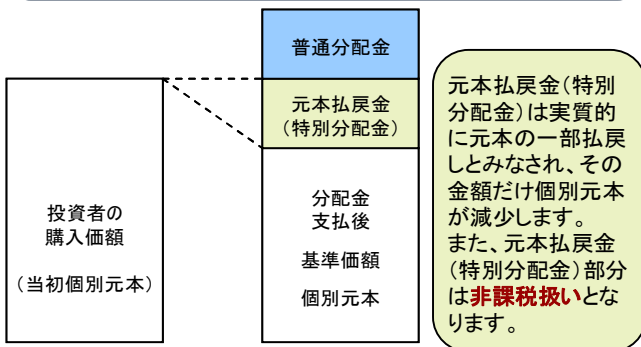
前期決算日から基準価額が下落した場合



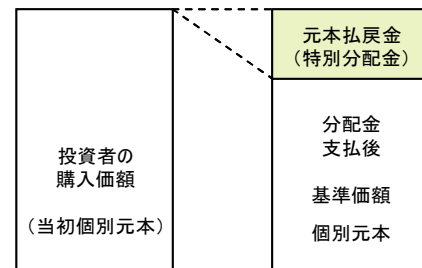
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

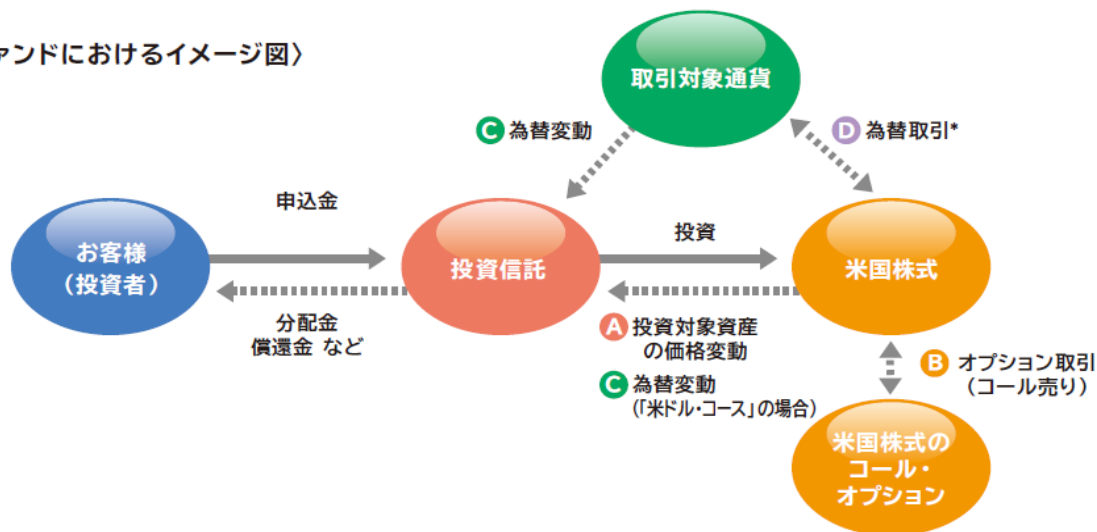
元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

《通貨選択型ファンドの収益のイメージ》

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。
- 当ファンドでは、米国の株式に投資するとともに、個別株オプション取引および為替取引を活用します。

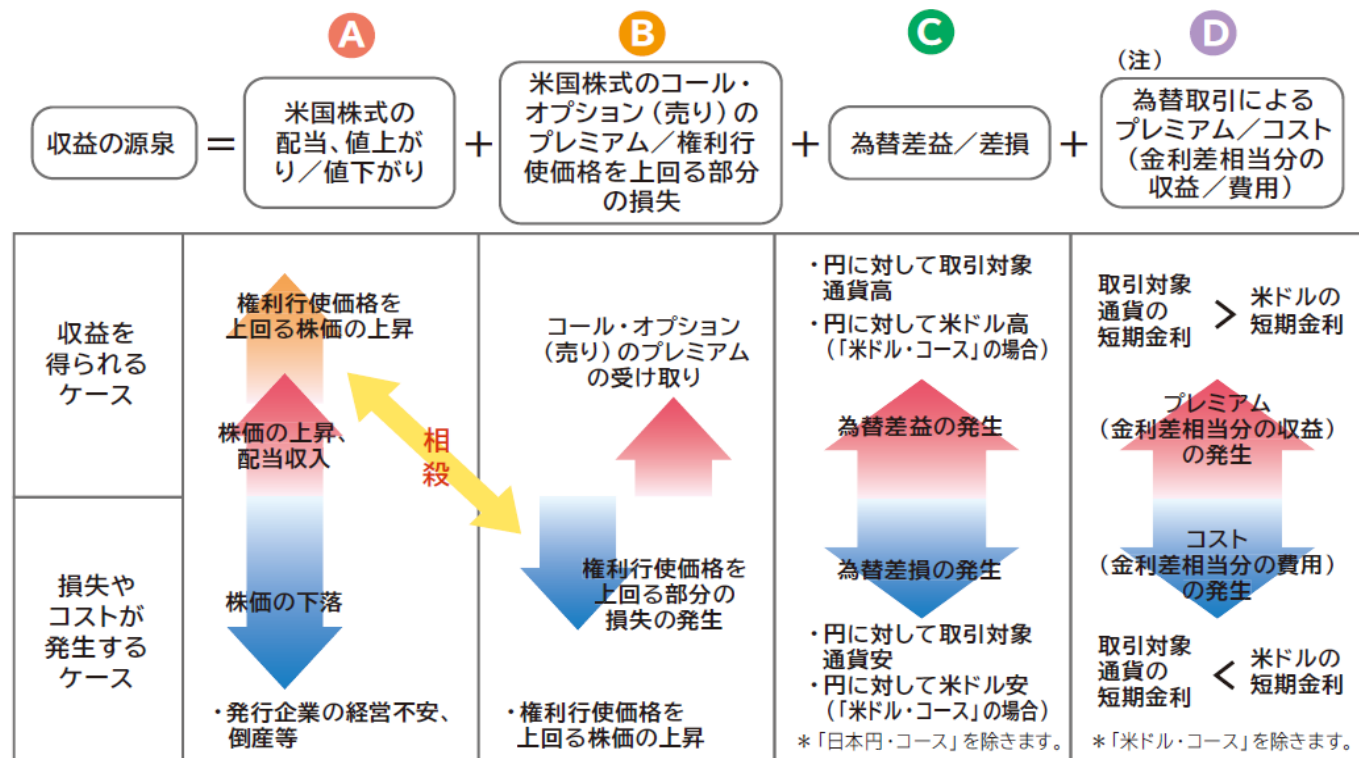
〈当ファンドにおけるイメージ図〉



*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 当ファンドの収益源としては、以下の要素が挙げられます。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。



(注) 為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。

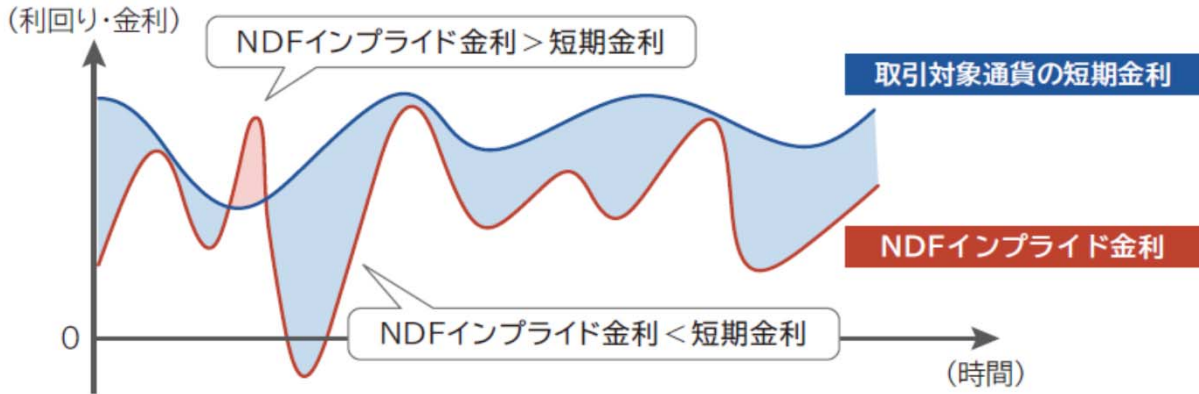
NDF取引を用いて為替取引を行なう際、為替取引によるプレミアム/コスト (金利差相当分の収益/費用) は、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

《NDF取引とは》

- ◆ 取引対象通貨を用いた受け渡しは行なわず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- ◆ NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き（裁定）が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、取引対象通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。

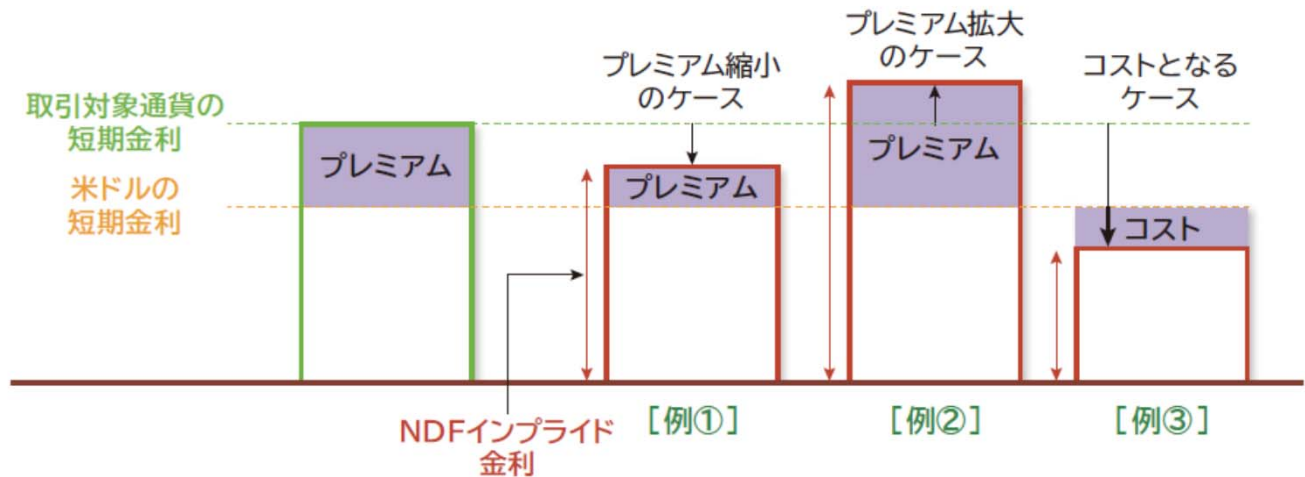
NDFインプライド金利と取引対象通貨の短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

NDFインプライド金利の変動の影響

- ◆ 市場参加者の通貨上昇（下落）期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く（高く）なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く（高く）なると、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が縮小【例①】（拡大【例②】）し、場合によっては為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）となるケース【例③】もあります。



※上記はイメージであり、実際のプレミアム／コストとは異なります。

※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

◀ 当資料のお取り扱いにおけるご注意 ▶

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和アセットマネジメント** フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00)

当社ホームページ

▶ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)
 ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 豪ドル・コース (毎月分配型)
 ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)
 ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 米ドル・コース (毎月分配型)
 ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名)		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。